

# 令和5年度第2回コミュニティ・スクール委員会(清水CS委員会)

## 会 議 録

### 1 出席委員等

林委員長、宮城副委員長、中村委員、堀委員、森委員、下坂委員、内田委員、  
恩田委員

欠席～長尾委員、土屋委員、横山委員

【事務局】渋谷学校教育課長、安ヶ平社会教育課長、山川教育指導幹、野田教頭、  
平野教頭、休宮教諭、柳田教諭、上出CSコーディネーター

2 場 所 清水小学校図書室及び第2音楽教室

3 日 時 令和5年10月30日(月)18時30分開会

4 傍聴人数 なし

### 5 会議内容

会議に入る前に、新委員となられた森智教氏に委嘱状を学校教育課長より交付。

林委員長あいさつ

自身の中学生の子どもが職場体験で貴重な体験をしたとのことを話していた。今後とも子ども達のための意義ある会議としたいので協力を願う。

説明・協議事項

林委員長により議事進行

#### (1)各学校等の実践状況について

学校等の実践状況について資料に基づき、清水小学校長、清水中学校長より説明。  
小中一貫として清水小より清水中の合唱見学が行われたことが報告された。

質問・意見無く承認

#### (2)意見交換(熟議)

2班に分かれ、それぞれ事前指定者が進行、記録・発表を担う。ただし、A班土屋委員、横山委員欠席によりA班の司会は平野清中教頭、記録を休宮清水小教諭が担う。

テーマは、「しみず教育の四季」の本年度の重点事項やめざす子ども像を念頭に入れ、CS委員として何をなすべきかとし、意見交換を行う。

A班

- ・こども園では地域開放を行い、様々な寄贈など地域が気をかけてくれている。
- ・小学校では台湾や深谷市との交流も進み、コロナが5類になり学校訪問も増えている。
- ・小中一貫でできることは増えているが精査してやっていく。だが、園、小・中学校の職員で互いにどのような教育をしているかわからないとの現状がある。
- ・学校や園ではできる活動が限られている。社会教育の体験活動も再開してきているので子ども達に勧めてはどうか。
- ・こども会とし事業を計画したが人が集まらず中止したが、ラジオ体操は景品配布や参加要件緩和などの工夫により集まり始めた。
- ・空白の4年間があるが、地域と人とのかかわり、体験など、子供たちのために今後も用意し、つながりが億劫に思う意識を変えていかななくてはならない。些細な事でも継続することが大切で、地域とのかかわりなど体験の灯を消さない努力が必要だ。

#### B班

- ・基本的な生活習慣として朝ご飯の大切さがあげられるが、夜遅くまで起きることにより家庭生活の悪循環となっている。どのように親に伝えたらよいか。地域を巻き込むことがCS委員としての役割かもしれない。
- ・修学旅行では日中の活動・体験により、夜も寝て朝もすっきり起きている。このことから日中の活動や体験が活力になり基本的習慣につながっていくのではないか。
- ・幅広い話題の中から出されたことを地域に広めていくことがCSの活動ではないか。

#### (3)その他

- ・他の町のCS活動が知りたい。  
(清水中学校長)浦幌では2地域にわかれ、中学生の提案を実現させている。上士幌では職場体験受け入れ名簿作成をCSを通して行っている。すでに清水町においても地域の方々が学校と関りを持ってもらっており、それがCSであるのではないか。CSとして行動できることはさらに様々あるのではないか。出されたアイデアを整理すれば実施につながられるのではないか。
- ・「教育の四季」との整理が必要。CS委員が重点目標を決めるのではなく「教育の四季」で行うべき。CSは何をすべきかをもう一度やったほうが良い。  
(コーディネーター)清水町独自の取組として「教育の四季」があり、それを基本として具体的にはCSで推進しているが、持ち帰り内部協議したい。
- ・修学旅行で子ども達の寝つきが良いとのことだがその要因は。

(清水中校長)体力的に弱いこともあるが、周りに流されることもあるのではな  
いか。

清水町こども大会作品展示(11/14～11/19文化センター)と11月28日開催の「子  
どもフォーラム」についての周知

林委員長より閉会あいさつ。(20時20分)

# 令和5年度第2回コミュニティ・スクール委員会(御影CS委員会)

## 会 議 録

### 1 出席委員等

中村委員長、細田副委員長、米光委員、久野委員、上谷委員、田中委員、谷口委員、乙戸委員

欠席～口田委員

【事務局】山下教育長、渋谷学校教育課長、山川教育指導幹、三木教頭、堀口教頭、亀山教諭、澤田教諭、上出CSコーディネーター

### 2 場 所 御影小学校家庭科室

### 3 日 時 令和5年10月31日(火)18時30分開会

### 4 傍聴人数 なし

### 5 会議内容

山下教育長あいさつ

様々な場面で子供たちの活躍を見てもらう機会があり良かったと感じた。各学校等の取組の成果について聞いてもらいたい。

中村委員長あいさつ

学習発表など子供たちの成長した姿が見れてうれしい。インフルエンザが流行ってきているが体に気を付けていただきたい。

説明・協議事項

中村委員長により議事進行

#### (1)各学校の実践状況について

学校の実践状況について資料に基づき、御影小学校長、御影中学校長より説明

質問・意見無く承認

#### (2)意見交換(熟議)

2班に分かれ、それぞれ事前指定者が進行、記録・発表を担う。

テーマは、「しみず教育の四季」の本年度の重点事項やめざす子ども像を念頭に入れ、CS委員として何をなすべきか とし、意見交換を行う。

A班

・子ども達のあいさつは校内ではできているが、外ではなかなかできていない。

地域の大人からあいさつをしていくと自然に子供もできていくのではないか。

- ・食に関わる体験など地域の協力で多くの体験をしており、子ども達も地域から大切にされていることを感じていると思う。
- ・秋の読書については、学校では取り組んでもらっているが、スマホ・テレビ・ネット環境から読書離れが進んでいる。家庭においてそれらを休む時間を設けることが大事。

## B班

- ・御影の子ども達のあいさつはできていると思う。大人も一緒にあいさつをすることにより安心感を与えるのではないか。
- ・この地域を好きだと言える子どもを増やすため、子ども達に地域の魅力を伝えることが大人の役割ではないか。
- ・すべてのことは大人(親・先生)から子供に伝えていくことが大事。
- ・子どもの居場所の確保が必要。
- ・こども自身が自信や自己肯定感を持てるような取り組みを学校にしてもらいたい。

## (3)その他

- ・御影改善センターが子どもの迎える場所や子供同士の交流スペースとなっているので整備をしてほしい。

(課長)十勝清水学を進める中でも子ども達から要望が上がっていた。地域とのコミュニケーションの場としても良い提案と考える。

(教育長)現場を見て検討したい。

- ・清水町のホームページの情報の充実について要望。小学校の授業において清水町の伝統文化を調べる授業があり、ネットに十分な情報が得られなかったようだ。子ども達に知ってもらうため良い機会なので、団体の活動写真でも良いが充実してほしい。

(教育長)実際にやっていることを紹介できるように担当に伝えたい。

- ・町のホームページに掲載不可の子ども写真が使われていたので注意してほしい。

(課長)担当課に確認するとともに、その点での配慮・注意を伝えていきたい。

- ・清水町こども大会作品展示(11/14～11/19 文化センター)と 11月28日開催の「子どもフォーラム」についての周知

中村委員長より閉会あいさつ。(19時45分)